

巻 頭 言

九州地区大学体育連合副会長 田 原 亮 二

2024年夏、フランス・パリでオリンピック・パラリンピックが開催されました。そして、この巻頭言を読まれている多くの皆様が記憶に残る数々のスポーツシーンを目撃されたかと思います。この世界的なスポーツの祭典は、ただ競技の場を提供するだけでなく、多様性と協働の力がいかに私たちの社会を豊かにするかを改めて教えてくれました。オリンピックの舞台で競い合うアスリートたちは、異なる背景、文化、信念を持ちながらも、共通の目標に向かって協力し合うことで、驚異的な成果を生み出します。この精神は、私たちが大学生を対象とした体育・スポーツにおいて育みたいものと言えるでしょう。

現代の大学生たちは、グローバル化の進展とともに、かつてないほど多様な価値観や文化に触れる機会を持っています。この多様性を尊重し、他者と協働する能力を育むことは、彼らが未来の社会で活躍するために欠かせない要素です。大学における体育授業は、単に体力を養う、運動技能を高める、健康を増進するだけでなく、学生たちが他者と協働し、多様な考え方や背景を理解し受け入れる力を育む絶好の場と言えるでしょう。

パリオリンピック・パラリンピックでは、世界中から集まったアスリートたちが、競技を通じて互いに刺激し合い、協力し合う姿が見られました。このような姿勢は、私たちが大学生に伝えるべき「協働の価値」を象徴しています。体育授業の中で、学生たちは様々な活動を通じてチームワークやコミュニケーションの大切さを学び、多様な視点から問題を解決する力を養うことができます。

九体連がこれまでに培ってきた研究成果は、前述したような、学生一人ひとりが異なる背景を持つ仲間と共に成長し合う環境を作り上げるための基盤となり得ます。これからの大学体育においては、学生が多様な運動・スポーツ体験を通じて、自らの興味や適性に合った運動・スポーツを見つけ、互いに支え合いながら成長できる環境を提供することが重要であると考えます。さらに、ただ身体を動かすだけでなく、心の健康や社会的な健康にも目を向け、多様なバックグラウンドを持つ仲間との協働を通じて、ストレスや不安を乗り越える力を養うことが求められます。

また、受験者数の減少などの理由により、ますます留学生が増えていくことが想定されます。留学生への対応は大学教職員にとって困難な課題ではありますが、留学生とのスポーツ交流は、学生たちが多様な文化や価値観を体感し、グローバルな視点で物事を考える力を身につける機会になると思います。そして、これらの活動によって、学生たちが未来の社会でリーダーシップを発揮し、異なる意見や文化を尊重しながら協働する力が養われることは大学教育において意義のあることと言えるでしょう。

以上のような、オリンピック・パラリンピックで示された精神は、大学体育の現場に対しても重要な示唆を与えていると考えます。大学生を対象とした体育授業は、単なる運動指導を超え、学生が健全で充実した人生を送るための基礎的な力を養う場であり、お互いの違いを尊重しつつ、共通の目標に向かって協力し合う価値を学び、持続可能で平等な社会を築くための重要な教育の場となる可能性を秘めていると言えます。これからの時代を生きる若者たちに、より豊かな学びの機会を提供し、運動・スポーツを通じて彼らの人生がより輝かしいものとなるよう、九体連がその手助けをできたらと思います。